

- 交通の多くは派生需要であり、交通を使うこと自体が目的なのではなく、その交通を使うことによって実現したい目的が存在する。
- このため、まず、交通の充実によって実現する山形県の将来像を明らかにした上で、それを実現するために山形県の交通はどのような姿を目指すべきかといった観点から、山形県が目指す交通の将来像を提示することとする。

交通の充実によって実現する山形県の将来像

国内外とのヒトやモノの活発な往来による
産業・地域の活性化

誰もが自由・快適に移動できることによる
一人ひとりの希望の実現、幸せの実感

地域に必要なサービスが提供される
持続可能な地域社会

災害の激甚化等が進む中での
安全・安心な暮らし

カーボンニュートラル達成などの
環境との調和

山形県が目指す交通の将来像

国内外との交流や産業発展の
基盤となる**広域交通の充実・強化**

地域の暮らしを支える**利便性が高く
持続可能な地域交通の構築**

様々な分野との連携等による
交通需要の創出、交通の利用拡大

- 広域的な交通と地域内交通のシームレスな接続が可能となるよう連携を図る
- 交通の充実・利便性向上等と、交通需要の創出・利用拡大に両面から取り組むことにより、地域の活力創造と交通の機能向上の好循環を生み出す

将来像の実現に向けた取組の方向性

国内外との交流や産業発展の基盤となる広域交通の充実・強化

多様な地域との間で、短時間、高頻度かつ安定性が高く移動できる広域交通ネットワークの構築を推進

- リニア中央新幹線開業等による日本中央回廊の形成を見据え、三大都市圏との往來の活性化に向けて、山形新幹線米沢トンネル(仮称)の早期の事業化・整備の実現、空港の機能強化・路線の充実、高規格道路のミッシングリンクの解消等に取り組む。
- 今後も拡大が見込まれるインバウンド需要の更なる取り込みを図るため、航空チャーター便誘致の推進等による国際定期便の実現、クルーズ船誘致等に取り組むほか、仙台空港等の他空港との連携、新幹線や空港の片道利用の推進等により、周遊旅行者の獲得を推進する。

地域の暮らしを支える利便性が高く持続可能な地域交通の構築

多様化・広域化する移動ニーズに対応し、老若男女誰もが安全・安心かつ快適に行きたいところに移動できて、持続可能性が高い地域交通を実現

- 鉄道ネットワークを最大限に活かすため、鉄道沿線活性化による利用拡大に市町村等の地域の関係者と連携して取り組み、機能強化・利便性の向上にもつなげていく。
- バス、デマンド交通等の生活交通について、デジタル技術の活用等による利便性向上・シームレスな移動の実現を図るとともに、地域公共交通活性化協議会の場も活用しながら、地域の交通を総動員して、地域の実情に応じた持続可能な地域公共交通を実現する。
- 交通事業者における、DXの推進等による生産性向上や、職場の魅力向上等による人手不足の解消、他分野連携等による収益構造の改善等の取組みを後押しし、地域公共交通の担い手の確保や地場産業の活性化を推進する。

様々な分野との連携等による交通需要の創出、交通の利用拡大

まちづくり、観光、農業、教育、医療等の様々な分野とも連携して、新たな交通需要の創出や利用拡大に取り組むことで、交通の活用による地域課題の解決・地域の活性化と交通の機能強化を後押し

- 空港の利用拡大、ポートセールス、やまがた鉄道沿線活性化プロジェクトの推進等のモードごとの利用拡大を推進するとともに、仙台空港との連携や新幹線と空港の片道利用の推進等の他地域やモード間で連携した取組みも推進する。
- コンパクトシティ、居心地が良く歩きたくなるまちなかの推進など、公共交通と連携したまちづくりを推進するとともに、カーボンニュートラル、健康面への効果など、公共交通利用のメリットを様々な角度から打ち出すことにより、公共交通の利用を促していく。
- 航空や港湾等の分野において、官民連携による脱炭素化の促進や、脱炭素化に資する施設の利用・整備等を推進する。